

# 獣医事をめぐる情勢

2018年10月

# 獣医師の活動分野

## 獣医師が活動する様々な分野

- ① 産業動物診療  
家畜や家きん(産業動物)の診療に従事
- ② 公務員  
家畜伝染病の予防やまん延防止などの農林水産分野、食肉検査などの公衆衛生分野、動物の愛護・管理などに従事
- ③ 小動物診療  
犬、猫等のペットの診療に従事
- ④ その他の分野  
大学の教員、動物用・人体用医薬品の開発、海外技術協力などに従事
- ⑤ 獣医事に従事しない者(無職含む)

## 分野別獣医師の数

(単位:人)

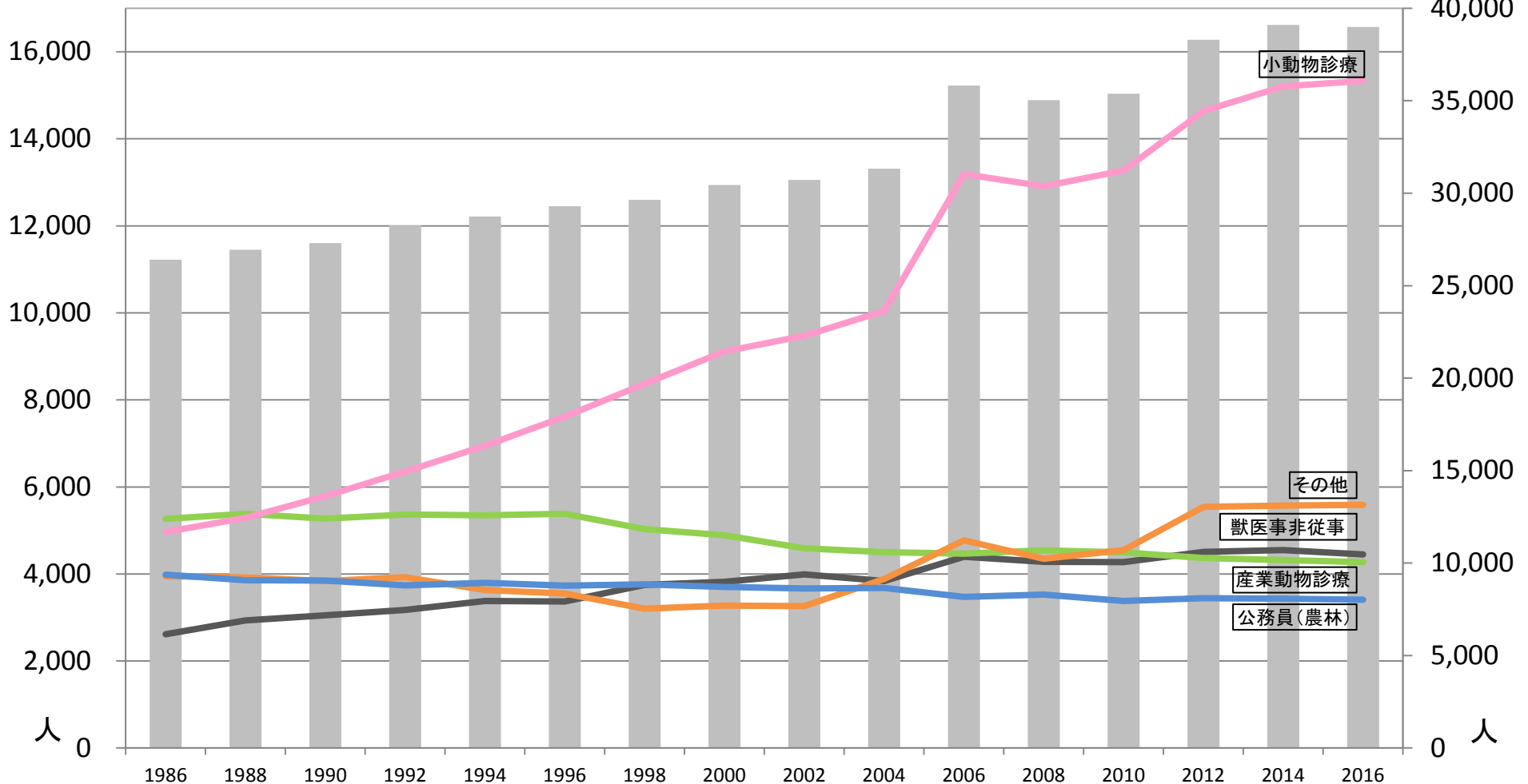
		平成28年	割合(%)	
活動獣医師	産業動物診療	4,270	11.0	
	公務員	農林水産分野	3,409	8.7
		公衆衛生分野	5,430	13.9
		その他	511	1.3
	小動物診療	15,330	39.3	
	その他の分野	5,586	14.3	
	小計	34,536	88.6	
獣医事に従事しない者(無職含む)		4,449	11.4	
合計		38,985	100.0	

【獣医師法第22条に基づく届出による】

# 獣医師法第22条の届出 解析①

折れ線グラフ軸

棒グラフ軸



- 小動物診療
- 産業動物診療
- その他の分野(教員、民間会社等)
- 公務員(農林水産分野)
- 獣医事に従事しない者(無職等)
- 獣医師合計

# 獣医師法第22条の届出 解析②

分野	平成28年12月31日現在						
	計	うち男性			うち女性		
	人	人	各分野の 男性比率	男性の就 業等比率	人	各分野の 女性比率	女性の就 業等比率
公務員 (農林水産分野)	3,409	2,274	67%	8%	1,135	33%	10%
公務員 (公衆衛生分野等)	5,941	3,529	59%	13%	2,412	41%	21%
産業動物診療	4,270	3,701	87%	14%	569	13%	5%
小動物診療	15,330	10,213	67%	38%	5,117	33%	44%
その他の分野 (教員、民間会社等)	5,586	4,063	73%	15%	1,523	27%	13%
獣医事に従事しない者 (無職等)	4,449	3,453	78%	13%	996	22%	8%
<b>獣医師合計</b>	<b>38,985</b>	<b>27,233</b>	<b>70%</b>	<b>100%</b>	<b>11,752</b>	<b>30%</b>	<b>100%</b>

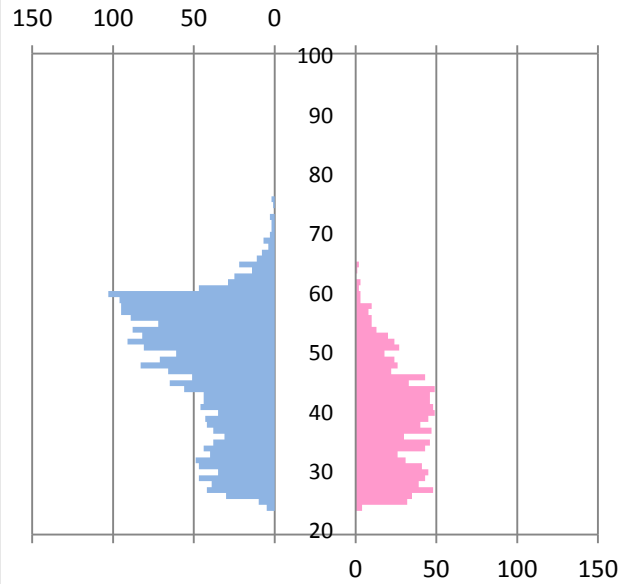
【獣医師法第22条に基づく届出による】

# 獣医師法第22条の届出 解析③

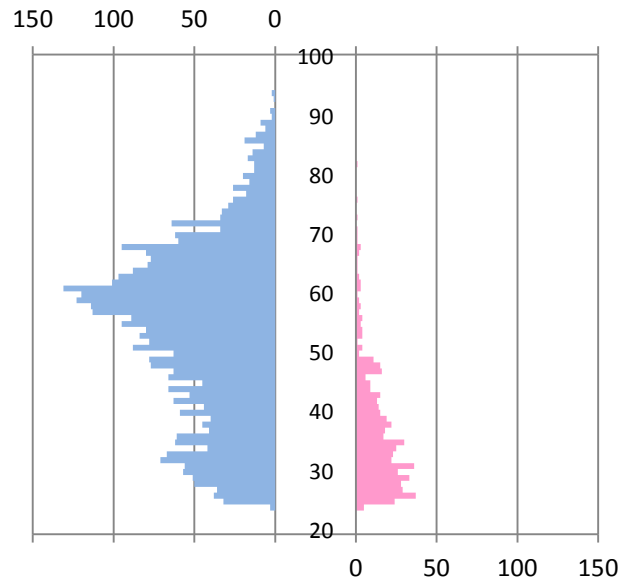
■ 男性 ■ 女性 横軸:人数 縦軸:年齢

獣医師法第22条に基づく届出による  
平成28年12月31日現在

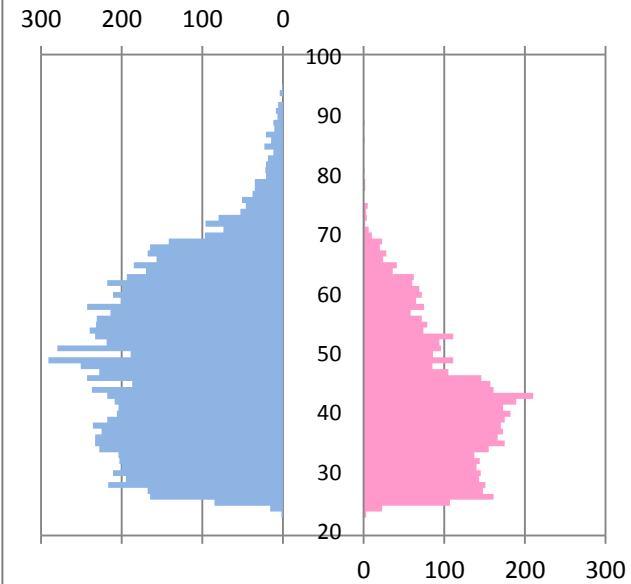
## 公務員(農林水産分野)



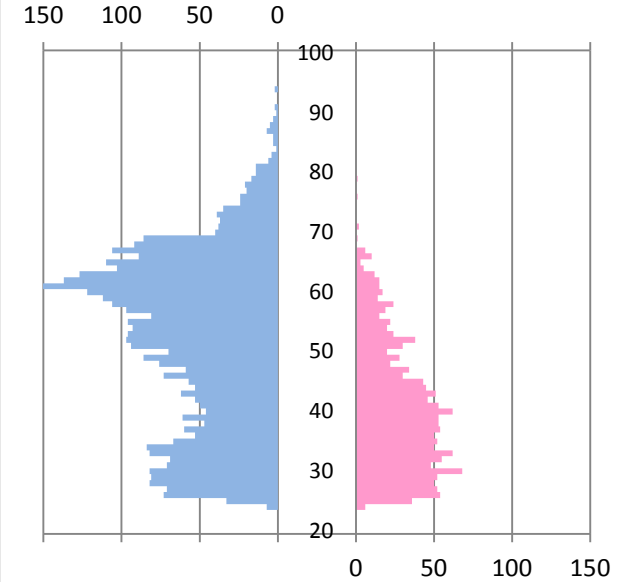
## 産業動物診療



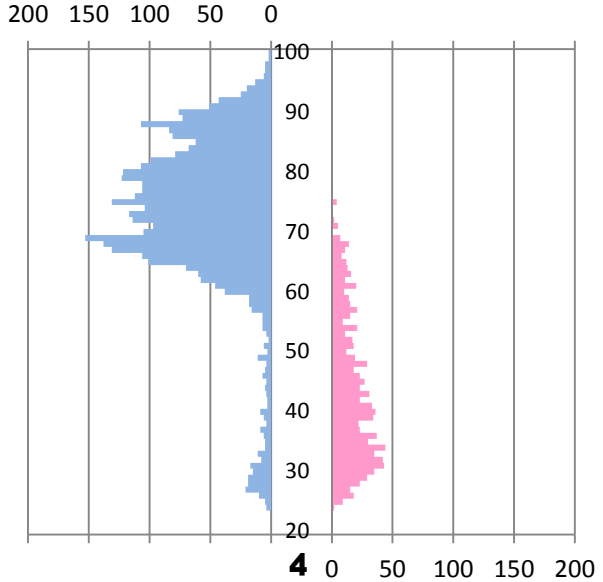
## 小動物診療



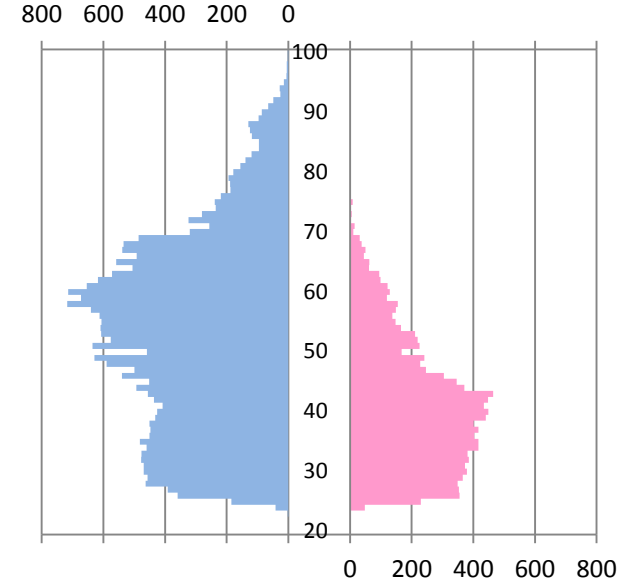
## その他の分野(教員・民間会社等)



## 獣医事に従事しない者(無職等)



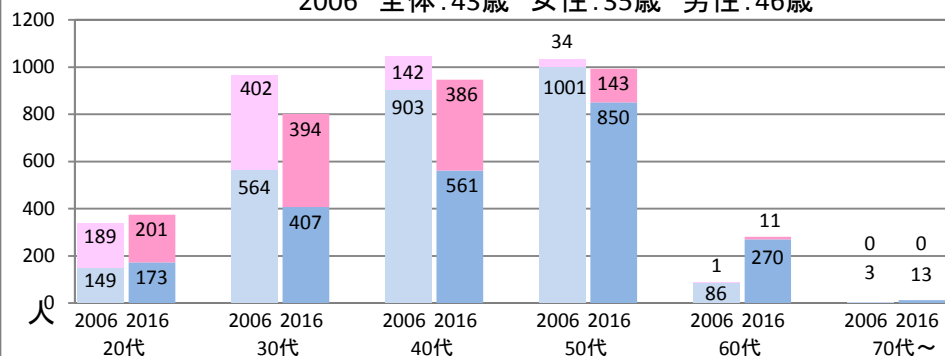
## 獣医師全体



# 獣医師法第22条の届出 解析④

## 公務員(農林水産分野)

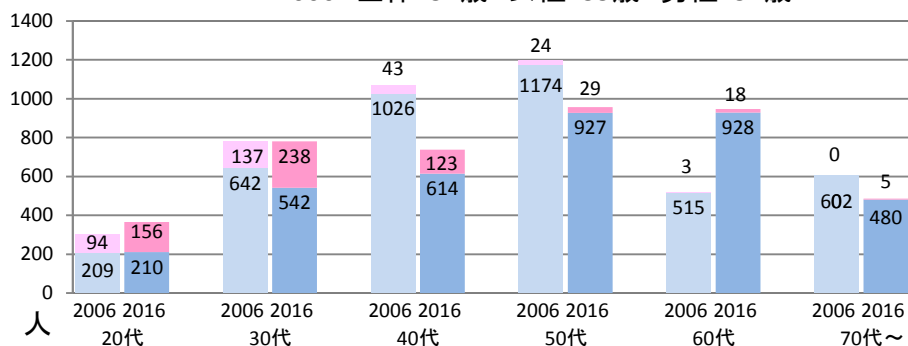
平均年齢 2016 全体:45歳 女性:39歳 男性:48歳  
2006 全体:43歳 女性:35歳 男性:46歳



## 産業動物診療

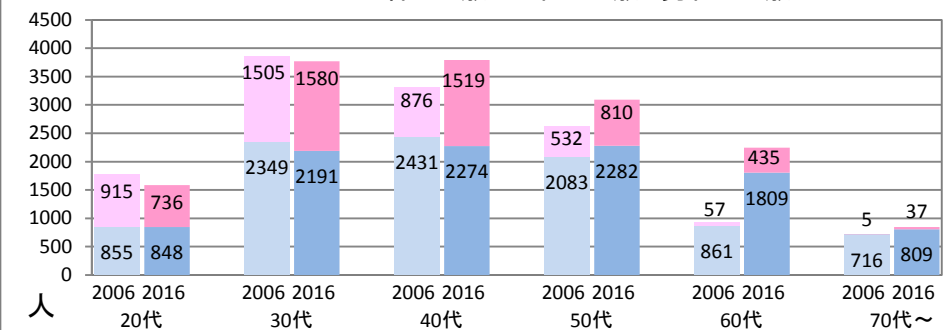
獣医師法第22条に基づく届出による

平均年齢 2016 全体:51歳 女性:37歳 男性:54歳  
2006 全体:51歳 女性:35歳 男性:52歳



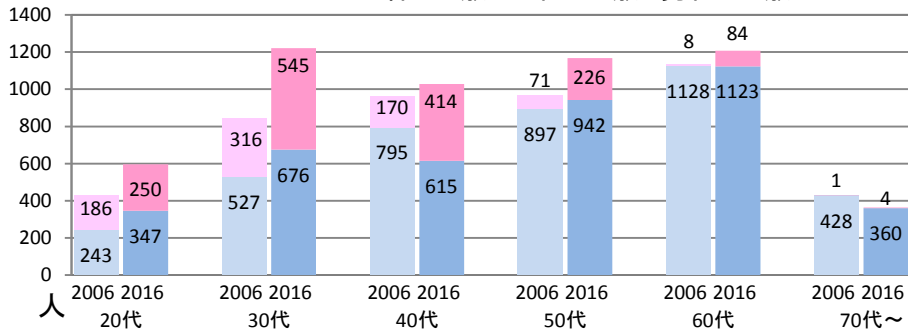
## 小動物診療

平均年齢 2016 全体:47歳 女性:42歳 男性:49歳  
2006 全体:44歳 女性:38歳 男性:47歳



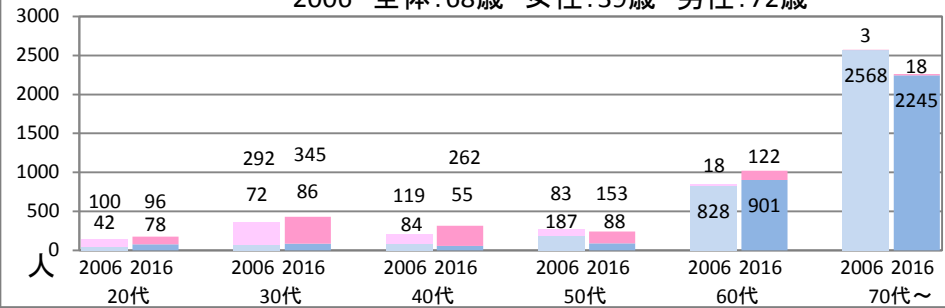
## その他の分野(教員・民間会社等)

平均年齢 2016 全体:49歳 女性:40歳 男性:52歳  
2006 全体:51歳 女性:37歳 男性:53歳



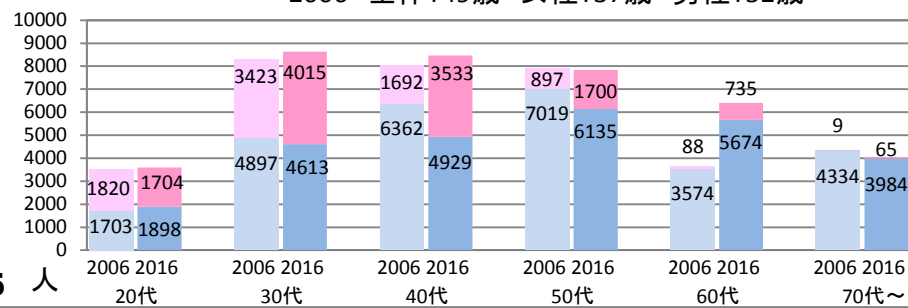
## 獣医事に従事しない者(無職等)

平均年齢 2016 全体:66歳 女性:44歳 男性:73歳  
2006 全体:68歳 女性:39歳 男性:72歳



## 獣医師全体

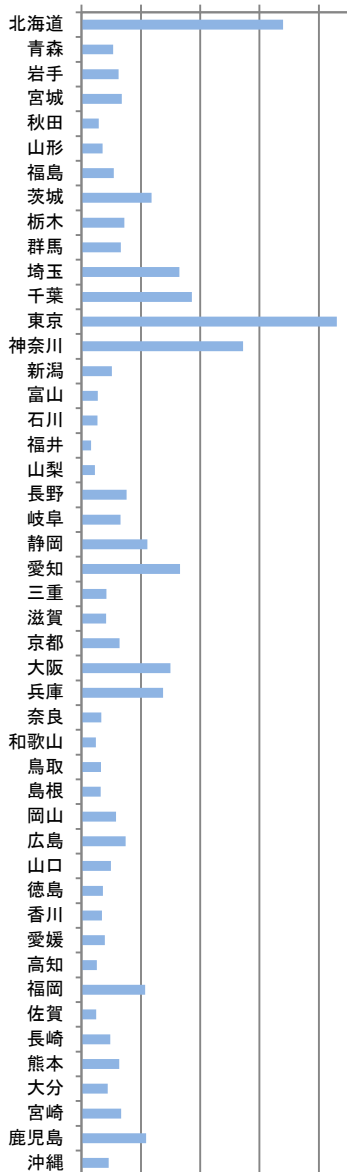
平均年齢 2016 全体:49歳 女性:41歳 男性:53歳  
2006 全体:49歳 女性:37歳 男性:52歳



# 獣医師法第22条の届出 解析⑤

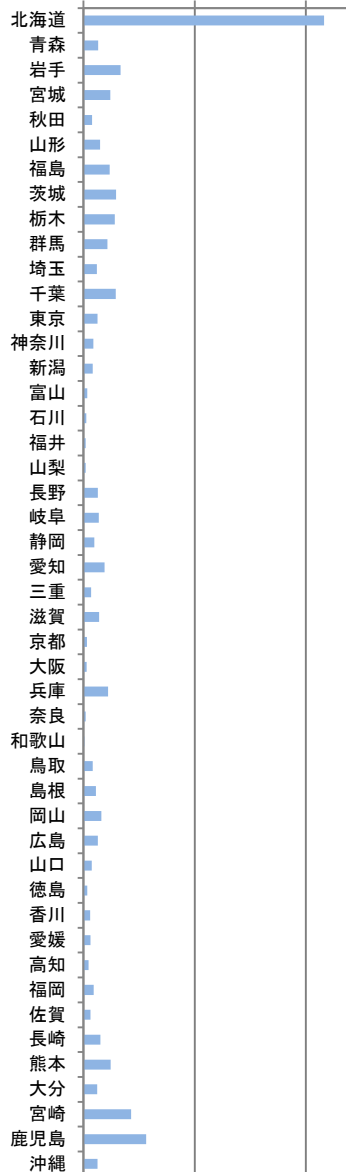
## 獣医師合計

0 1000 2000 3000 4000 人



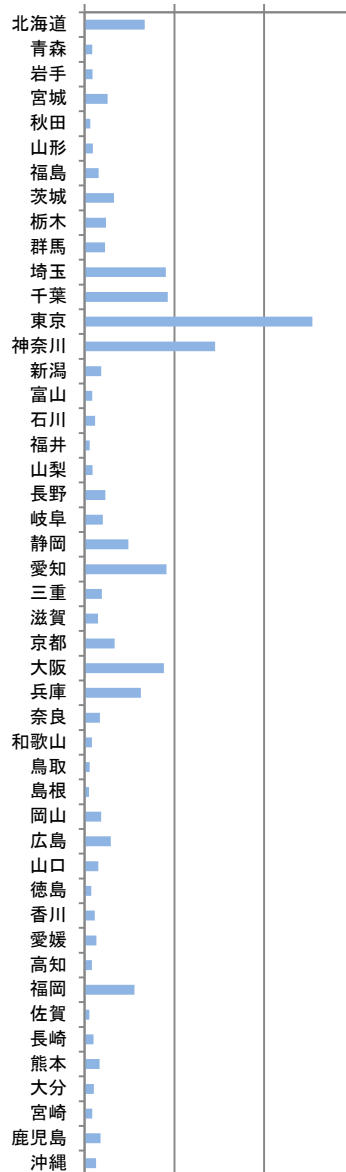
## 産業動物診療

0 500 1000 人



## 小動物診療

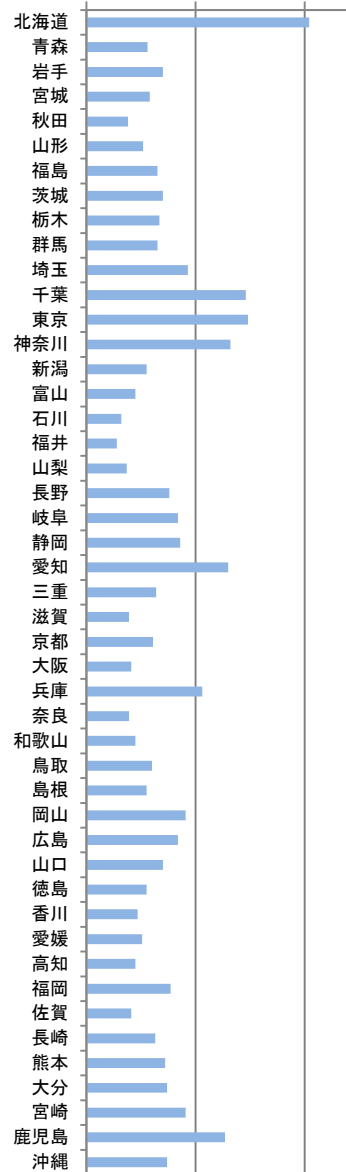
0 1000 2000 3000 人



## 公務員

(農林水産分野)

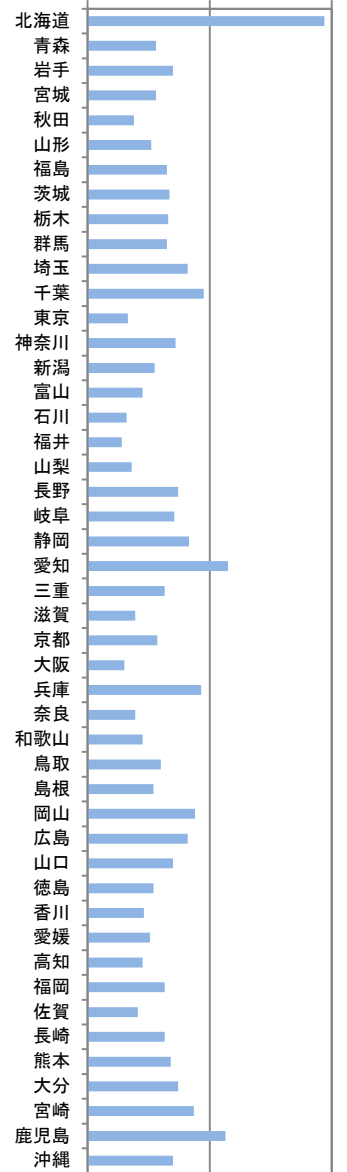
0 100 200 人



## 都道府県公務員

(農林水産分野)

0 100 200 人

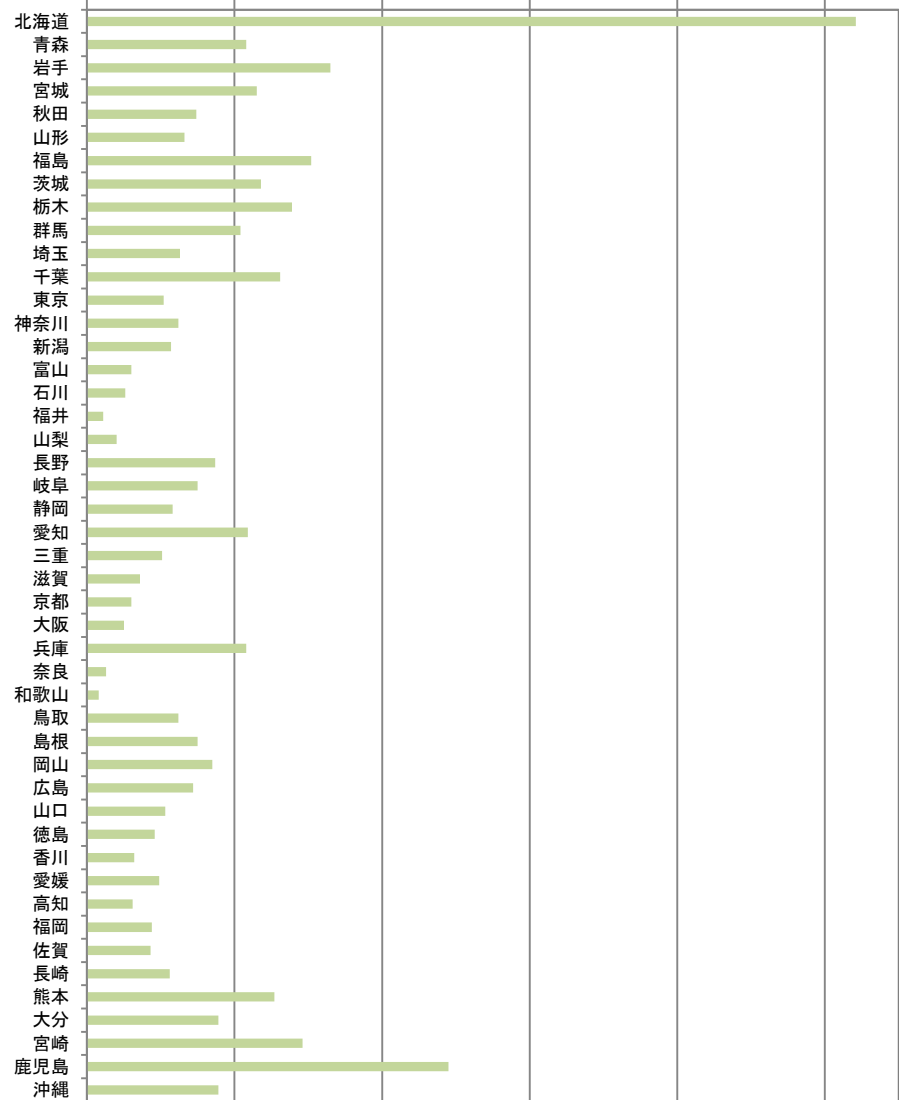


# 獣医療法第3条の届出 平成29年の状況

## 産業動物診療施設

平成29年: 3,958施設

0 100 200 300 400 500 施設



## 小動物等診療施設

平成29年: 11,839施設

0 500 1,000 1,500 施設

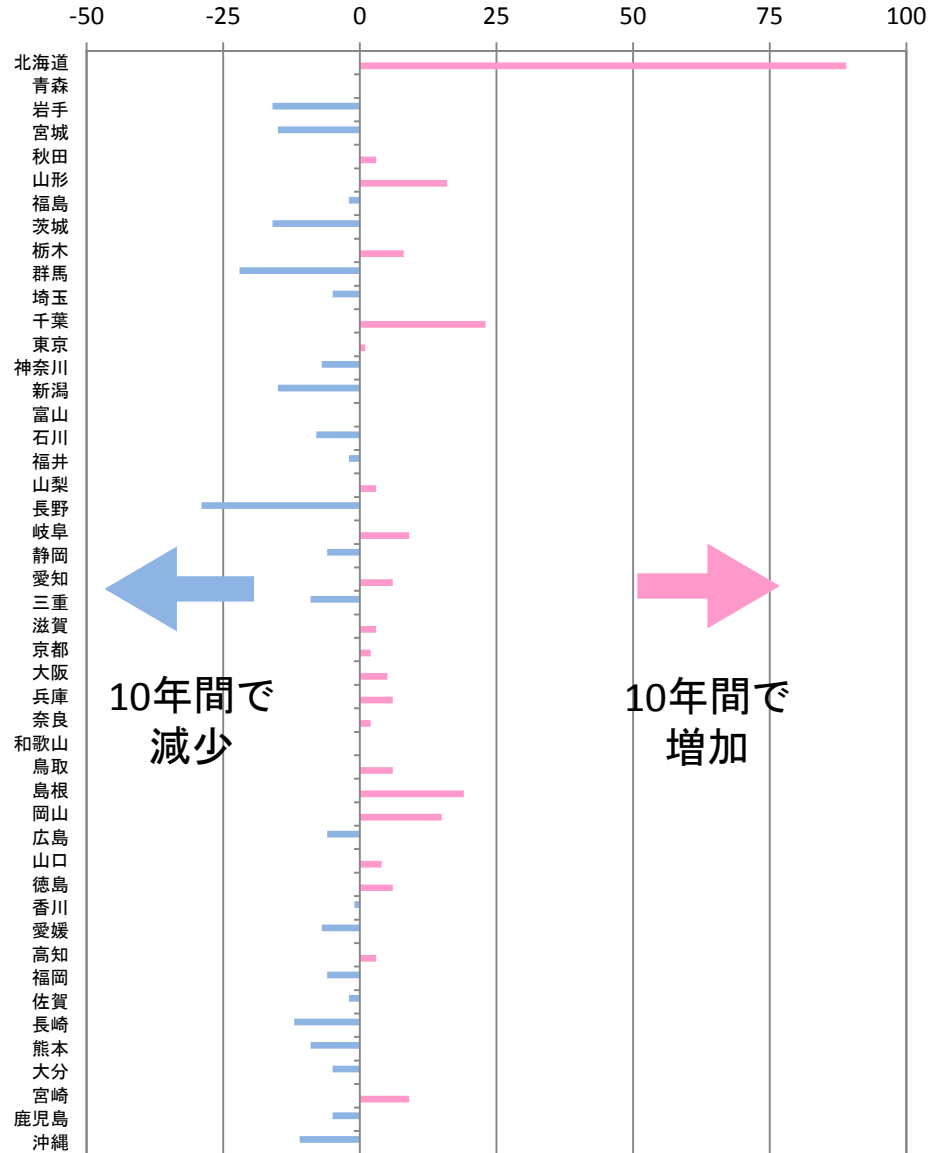




# 獣医療法第3条の届出 平成19年と平成29年の比較

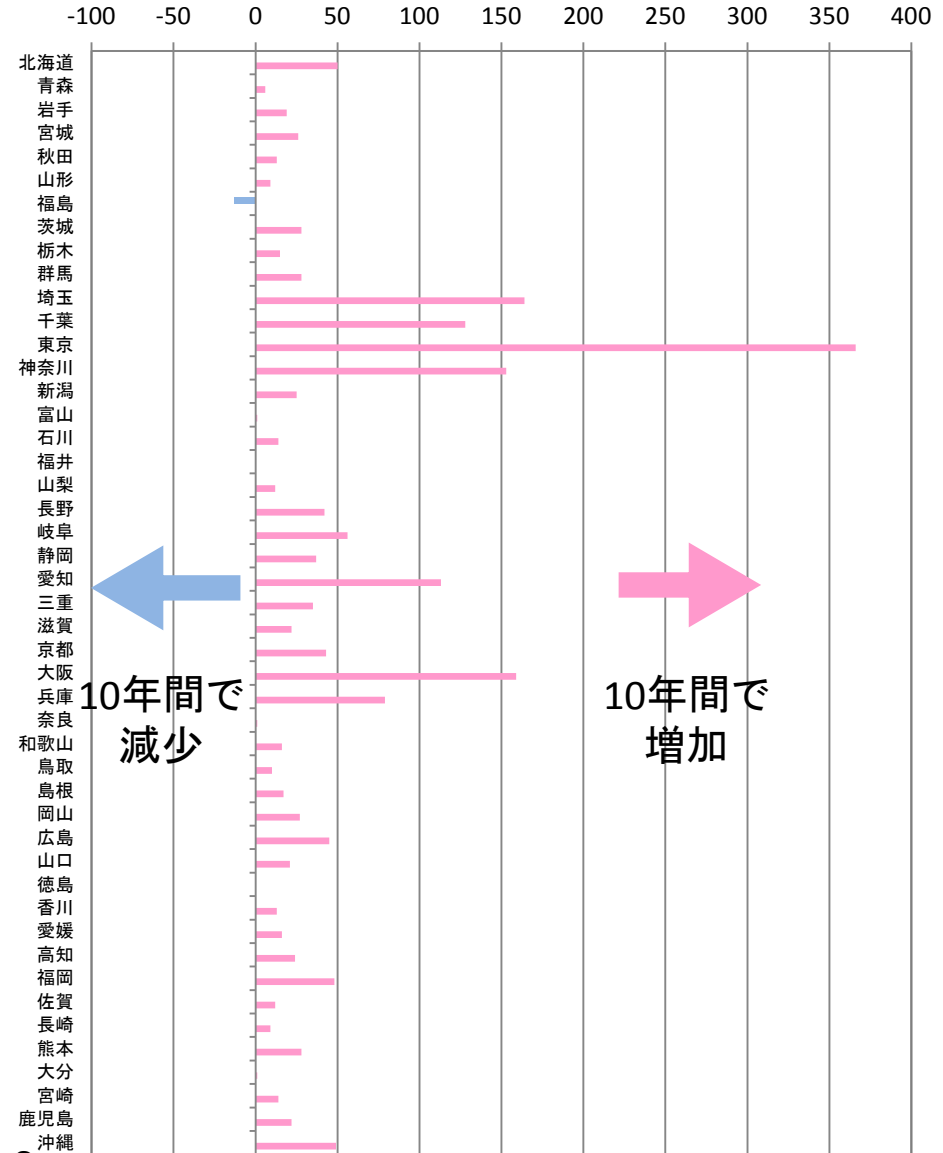
## 産業動物診療施設の増減

平成19年: 3,936施設 平成29年: 3,958施設



## 小動物等診療施設の増減

平成19年: 9,836施設 平成29年: 11,839施設



## 過去10年間の主な変更点 平成20年度から平成29年度

### 必須問題の導入 第61回試験(2010.3)から適用

- ・ 獣医師の社会的側面や倫理的側面に関する問題
- ・ 獣医師の職務、権限等に関係する法律に関する問題
- ・ 飼育動物の診療や公衆衛生に対して、重大な影響を与える非常に重要かつ基本的な問題

### 獣医師国家試験出題基準の見直し 第67回試験(2016.2)から適用

- ・ 獣医学教育の充実を図るため、全国統一の獣医学教育モデル・コア・カリキュラムを定め、その中で科目の追加・細分化が図られた。
- ・ 獣医学の進展により、新たな疾患が教育の対象となってきている。
- ・ 動物の疾患名について、科目等によって表記が異なっていたことから、(公社)日本獣医学学会では疾患名用語集を作成し、疾患名の統一・追加が図られた。

## 過去10年間の試験 平成20年度から平成29年度

	第60回	第61回	第62回	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回	第69回
受験者数(人)	1,262	1,321	1,275	1,266	1,250	1,237	1,241	1,299	1,296	1,277
合格者数(人)	983	1,111	1,052	1,060	1,023	1,011	938	1,024	1,000	1,128
合格率(%)	78	84	83	84	82	82	76	79	77	88

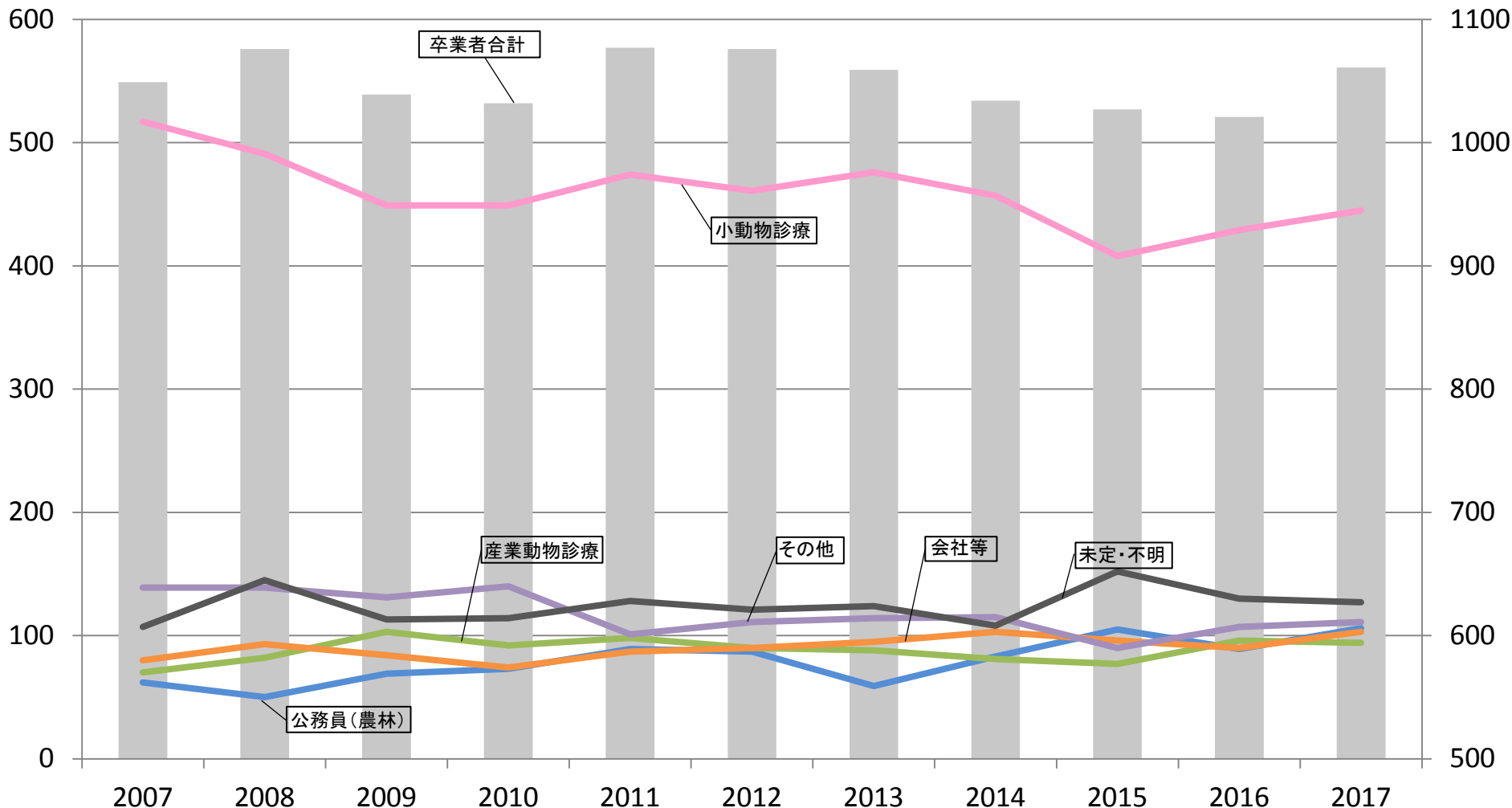
# 獣医大学卒業生の進路について ①

分野	平成29年3月卒業生						
	計	うち男性			うち女性		
	人	人	各分野の男性比率	男性の就業等比率	人	各分野の女性比率	女性の就業等比率
公務員 (農林水産分野)	106	52	49%	10%	54	51%	10%
公務員 (公衆衛生分野等)	75	23	31%	4%	52	69%	10%
産業動物診療	94	56	60%	10%	38	40%	7%
小動物診療	445	211	47%	39%	234	53%	45%
会社等	103	59	57%	11%	44	43%	8%
その他 (大学院進学等)	111	70	63%	13%	41	37%	8%
未定・不明	127	67	53%	12%	60	47%	11%
<b>合計</b>	<b>1,061</b>	<b>538</b>	<b>51%</b>	<b>100%</b>	<b>523</b>	<b>49%</b>	<b>100%</b>

# 獣医大学卒業生の進路について ②

折れ線グラフ軸

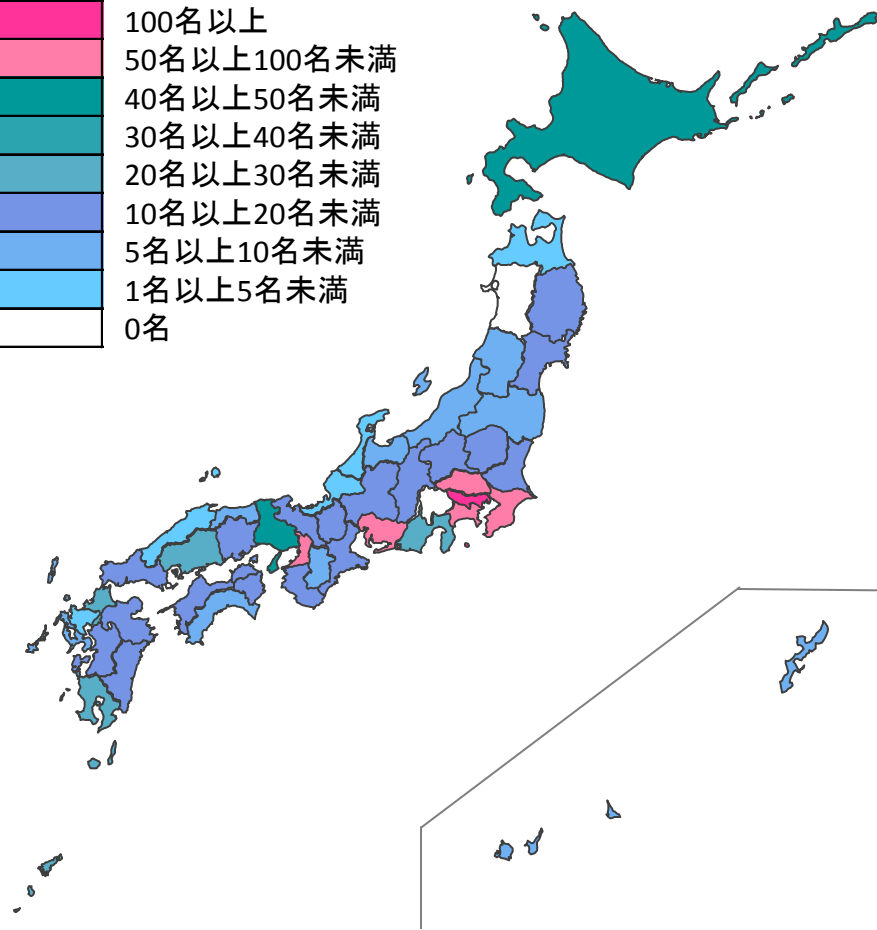
棒グラフ軸



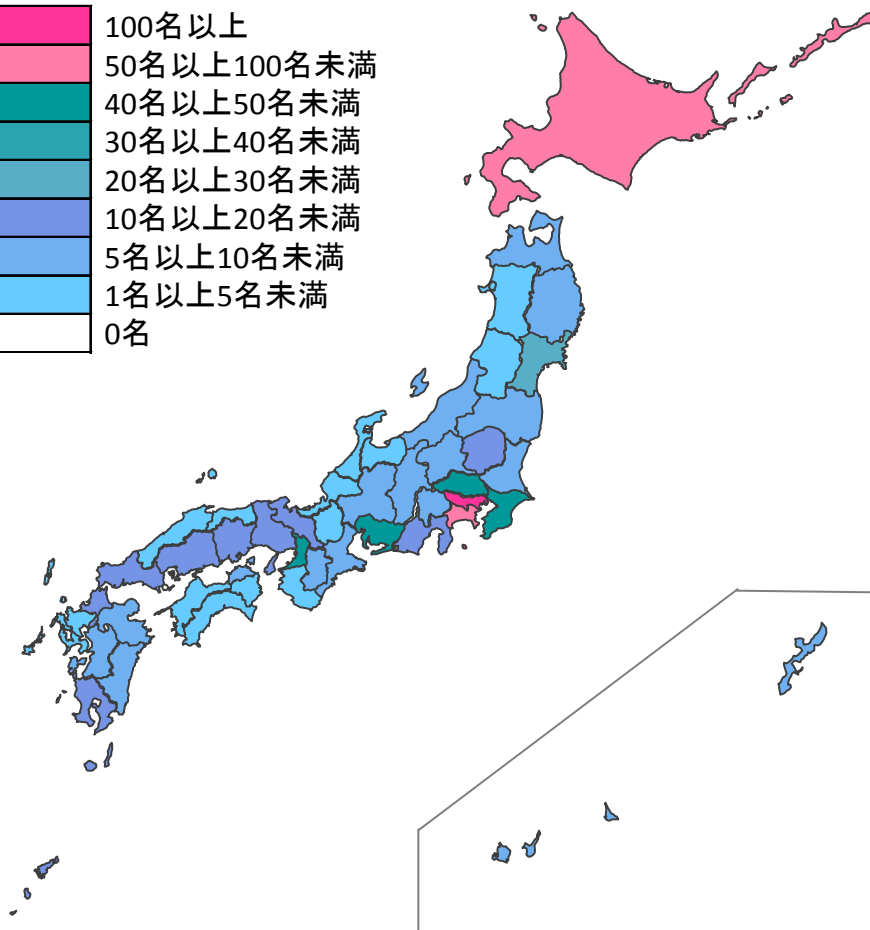
- 小動物診療
- 公務員(農林水産分野)
- 獣医大学卒業生合計
- 未定・不明
- 会社等
- 産業動物診療
- その他(大学院進学等)

# 獣医学生の出身地と就職先について

## 獣医学生(平成29年3月卒業者) 出身都道府県



## 獣医学生(平成29年3月卒業者) 就職先都道府県



獣医系大学への聞き取りによる

○出身都道府県: 獣医学生(平成29年3月卒業者)1061名のうち、出身都道府県が分かる1057名のデータ

○就職先都道府県: 国内に就職した831名(230名は進学・未定等)のうち、就職先都道府県が分かる829名のデータ

# 獣医学生の出身地、大学所在地及び就職先との関係

## 獣医学生(平成29年3月卒業者) 出身都道府県と就職先の関係

出身都道府県に就職した者	出身都道府県以外に就職した者
312	515
38%	62%

出身地域に就職した者	出身地域以外に就職した者
502	325
61%	39%

### 地域として設定した都道府県

- 北海道 : 北海道
- 東北 : 青森,岩手,宮城,秋田,山形,福島
- 北陸 : 新潟,富山,石川,福井
- 関東 : 茨城,栃木,群馬,埼玉,千葉,東京,神奈川,山梨,長野
- 東海 : 岐阜,静岡,愛知,三重
- 近畿 : 滋賀,京都,大阪,兵庫,奈良,和歌山
- 中国 : 鳥取,島根,岡山,広島,山口県
- 四国 : 徳島,香川,愛媛,高知
- 九州 : 福岡,佐賀,長崎,熊本,大分,宮崎,鹿児島,沖縄

## 獣医学生(平成29年3月卒業者) 大学所在地と就職先の関係

大学所在地の都道府県に就職した者	大学所在地の都道府県以外に就職した者
184	645
22%	78%

## 獣医学生(平成29年3月卒業者) 出身都道府県と大学所在地との関係

出身都道府県は大学所在地の都道府県である	出身都道府県は大学所在地の都道府県以外である
172	657
21%	79%

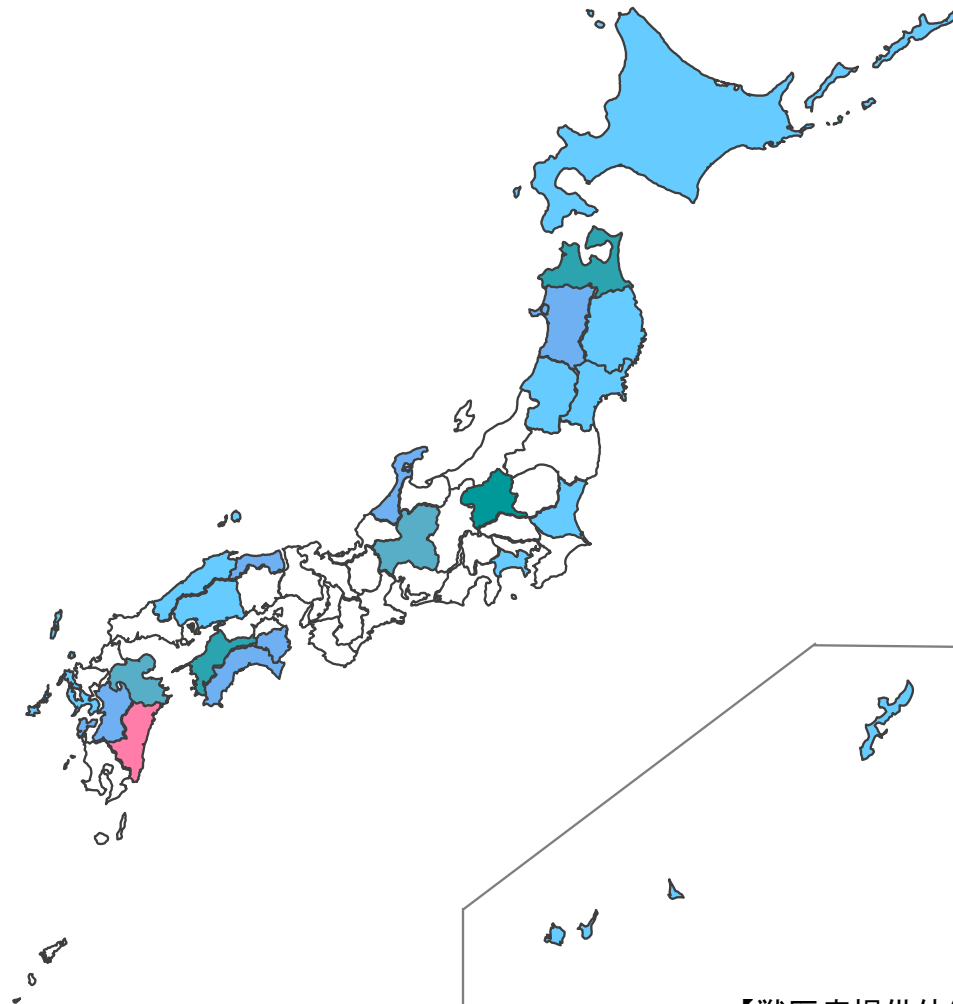
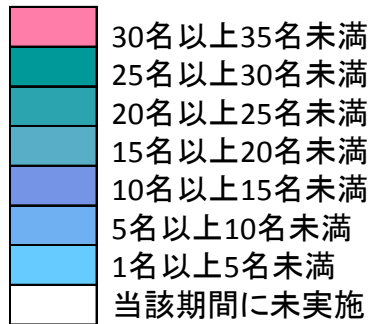
獣医系大学への聞き取りによる

- 出身都道府県と就職先: 国内に就職した831名のうち、出身都道府県と就職先都道府県が分かる827名のデータ
- 大学所在地と就職先: 国内に就職した831名のうち、出身大学と就職先都道府県が分かる829名のデータ
- 出身都道府県と大学所在地: 国内に就職した831名のうち、出身都道府県と出身大学が分かる829名のデータ

# 産業動物獣医師修学資金の活用状況について

## 平成23年度～平成29年度における 地域入学者・獣医学生修学資金※の都道府県別新規契約者数

※農林水産省「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」



【獣医療提供体制整備推進総合対策事業  
事業実施主体からの報告による】

# 処遇改善について

都道府県では、農林分野の公務員獣医師の確保対策の一環として初任給手当等の処遇改善を実施している。

## 初任給調整手当の導入状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
導入している 都道府県	17	18	24	25	25	26	28	30	32	33

## 初任給調整手当の例

○A県：初年度3万円。10年目まで据え置き。11年目以降5千円ずつ減額

初年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	25,000	20,000	15,000	10,000	5,000	0

○B県：初年度3万5千円。2年目以降2千円ずつ減額

初年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
35,000	33,000	31,000	29,000	27,000	25,000	23,000	21,000	19,000	17,000	15,000	13,000	11,000	9,000	7,000	0

※初任給調整手当の他、家畜保健衛生業務手当（月額15,000円程度）や給料調整額\*を導入している都道府県もある。

\* 給料調整額＝調整基本額（6,000円～12,000円（役職により異なる））×調整数（1.0～3.0）